

一般社団法人日本顎関節学会 平成 26 年度事業報告書

I. 目的（定款第 3 条）

本法人は、会員相互並びに国内外の関連団体との交流を深め、顎関節学に関する基礎的及び臨床的研究、教育及び診療についての会員の能力向上を図るとともに、それにより地域社会における口腔の健康の維持と向上に貢献し、もって国民の健康と福祉の増進に寄与することを会員共通の目的として、次の事業を行った。

- (1) 学術大会の開催に関する事業
- (2) 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催
- (3) 機関誌、及びその他の出版物の刊行
- (4) 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する専門医等の各種資格認定事業
- (5) 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する研修機関等および研修制度の整備
- (6) 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業
- (7) 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究
- (8) 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流
- (9) 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業
- (10) 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰
- (11) その他本法人の目的を達成するために必要な事業

II. 学術大会の開催に関する事業（定款第 3 条 1 項）

1. 第 27 回学術大会

第 27 回学術大会を開催した。

- 1) 会期：2014 年 7 月 19 日（土）～20 日（日）
- 2) 会場：九州大学医学部百年講堂
- 3) 大会長：古谷野 潔（九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座
インプラント・義歯補綴学分野 教授）
- 4) 参加者：総計 718 名
 1. 事前参加登録者 439 名
 2. 当日参加登録者 279 名
- 5) 総演題数：97 演題
 1. 一般口演 30 演題
 2. ポスター発表 76 演題
- 6) 協賛企業：21 社
- 7) 学術企画

I. メインシンポジウム

「世界の潮流から考えるこれからの顎関節症治療：分類，診断基準の変革がもたらすもの」

座長：古谷野潔（九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座インプラント・義歯補綴学分野）

1. 新たに改訂された日本顎関節学会による顎関節症の病態分類（2013）
と診断基準
矢谷博文（大阪大学大学院歯学研究科顎口腔機能再建学講座クラウンブリッジ補綴学分野）
2. Diagnostic Criteria for Temporomandibular Disorders (DC_TMD)
有馬太郎（北海道大学大学院歯学研究科口腔機能学講座冠橋義歯補綴学教室）
3. アメリカ口腔顔面痛学会（AAOP）ガイドライン第5版 [2013] の位置づけ
築山能大（九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座インプラント・義歯補綴学分野）
4. 国際頭痛分類第36版（ICHD_36）[2013] の概要：顎関節症の位置づけと鑑別疾患について
井川雅子（静岡市立清水病院口腔外科）
5. いわゆる2軸の評価とDSM_5
宮地英雄（北里大学医学部精神科学）

II. 教育講演 1

「顎関節の臨床局所解剖」

座長：小林馨（鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座）

講師：近藤壽郎（日本大学松戸歯学部顎顔面外科学講座）

III. シンポジウム 1

「顎関節症の病因としてのブラキシズムの役割を探る」

座長：窪木拓男（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野）

1. 顎関節症とブラキシズムとの関係についての現在の理解—文献的考察—
大久保昌和（日本大学松戸歯学部有床義歯補綴学講座）
2. Sleep Bruxism は顎関節症の病因か？ これまでのエビデンスを整理する
山口泰彦（北海道大学大学院歯学研究科口腔機能学講座冠橋義歯補綴学教室）
3. Awake Bruxism は顎関節症の病因であるというエビデンスはあるか
藤澤政紀（明海大学歯学部機能保存回復学講座歯科補綴学分野）

IV. シンポジウム 2

「顎関節症に対する理学療法の実際」

座長：和嶋浩一（慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室）

1. イントロダクション現在の顎関節症治療における理学療法の位置づけ
和嶋浩一（慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室）
2. 筋障害への対応—特に筋膜痛について—

原 節宏（日本歯科大学附属病院総合診療科顎関節症診療センター）

3. クローズドロックへの対応

小木信美（愛知学院大学歯学部顎口腔外科学講座）

4. 理学療法をより効果的にするための TCH コントロール

西山 暁（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎関節口腔機能学分野）

5. 一般臨床医がどのように理学療法を取り入れていくか？

島田 淳（医療法人社団グリーンデンタルクリニック）

V. シンポジウム 3

「顎関節症の痛みに対する薬物療法の実際と展望」

座長：千葉雅俊（東北大学大学院歯学研究科口腔病態外科学講座顎顔面・
口腔外科学分野）

1. 一般臨床医が初期治療として行う薬物療法

澁谷智明（日立製作所横浜診療所歯科口腔外科）

2. 顎関節痛に対する薬物療法

儀武啓幸（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面頸部機能再建学
講座顎顔面外科学分野）

3. 慢性筋痛に対する薬物療法

村岡 渡（慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室，川崎市立井田病院歯科
口腔外科）

VI. イブニングセミナー

「一般臨床医が治す顎関節症—問診・診察・検査・鑑別診断・治療—」

座長：田口望（田口歯科医院）、和気裕之（みどり小児歯科）

1. 医療面接（いわゆる問診）

甲斐貞子（たていし歯科口腔外科クリニック）

2. 診察—視診・触診を中心に—

高野直久（高野歯科医院）

3. 顎関節症の検査

野澤健司（野澤歯科）

4. 鑑別診断

門脇 繁（医療法人二期会二期会歯科クリニック）

5. 治療と経過

塚原宏泰（塚原デンタルクリニック）

VII. ハンズオンセミナー

「顎関節腔穿刺法および関節腔洗浄療法の実際と応用」

村上賢一郎（赤穂市民病院歯科口腔外科）

川上哲司（奈良県立医科大学口腔外科学講座）

VIII. 平成25 年度学会賞学術奨励賞受賞講演

座長：佐藤博信（福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野）

「ウサギ大脳皮質咀嚼野電気刺激により誘発された咀嚼様運動時の作業側顎関節における下顎頭と関節円板の協調運動」

丸尾尚伸（愛知学院大学歯学部顎口腔外科学講座）

III. 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催（定款第3条2項）

1. 第36回学術講演会

開催日：2014年10月26日（日）

会場：神奈川歯科大学 小講堂

講師、座長、講演内容：

座長：古谷野 潔先生（九州大学大学院歯学研究院インプラント・義歯補綴学分野教授）

講師：山田一尋（松本歯科大学歯科矯正学講座 教授）

「顎関節症と矯正治療の関わり」

講師：小川 匠（鶴見大学歯学部クラウンブリッジ補綴学講座 教授）

「変形性顎関節症に対する補綴治療の考え方」

座長：久保田英朗先生（神奈川歯科大学顎顔面外科学講座 教授）

講師：中山英二（北海道医療大学歯学部生体機能・病態学系歯科放射線学分野 教授）

「顎関節の画像診断—顎関節症と鑑別疾患」

講師：岡本俊宏（東京女子医科大学医学部歯科口腔外科学教室 准教授）

「顎関節症以外の顎関節の疾患・障害とその対応について」

参加者：31名（会員25名、非会員6名）

2. 第37回学術講演会

開催日：2015年5月17日（日）

会場：大阪歯科大学創立100周年記念館 4階大講義室

講師、座長、講演内容：

座長：中嶋正博先生（大阪歯科大学障がい者歯科 教授）

講師：下田信治（鶴見大学歯学部口腔解剖学講座 教授）

「顎関節の構造や動きを再確認する」

講師：高橋 哲（東北大学大学院歯学研究科顎顔面・口腔外科学分野 教授）

「顎関節の外科療法の適応と意義」

座長：古谷野 潔先生（九州大学大学院歯学研究院インプラント・義歯補綴学分野教授）

講師：金田 隆（日本大学松戸歯学部放射線学講座 教授）

「基本から学ぶ顎関節のMRI診断」

講師：前川賢治（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野准教授）

「慢性筋痛の病態メカニズムに関する最近の知見」

参加者：56名（会員55名、非会員1名）

IV. 機関誌、及びその他の出版物の刊行（定款第3条3項）

日本顎関節学会雑誌：4回発行（うち1回は大会抄録集）
第26巻特別号（2014年7月発行）
第26巻2号（2014年8月発行）
第26巻3号（2014年12月発行）
第27巻1号（2015年4月発行）

V. 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する専門医等の各種資格認定事業

（定款第3条4項）

【新規認定】

専門医制度を施行。専門医および指導医筆記試験を実施。

<平成26年第2回指導医試11月23日（日）東京駅八重洲倶楽部第2会議室>

10：30～11：30＝記述試験

13：00～13：40＝口頭試問

平成26年度中に指導医2名を新たに認定。

新認定医制度における暫定期間の認定医申請を受付けた。

対象者73名中43名が申請、内最終登録者数は37名。

【更新認定】

2014年12月31日が認定期限となる方々の資格更新審査を実施。

（会場：八重洲倶楽部第7会議室）

<対象者および結果>

専門医のみ：対象者13名

結果：10名更新、保留3名

専門医および指導医：25名

結果：19名更新、専門医更新・終身指導医申請1名、

専門医更新意思のない終身指導医申請者1名、保留申請者1名、

未申請3名

研修施設：対象1施設

結果：1施設更新

関連研修施設：4施設

結果：2施設更新、

更新に合わせて関連研修施設から研修施設への変更2施設

<昨年度の更新審査における保留申請者の結果>

専門医および指導医：13名

結果：更新1名、専門医更新・終身指導医申請6名、
申請せず終身指導医申請2名、未申請4名。

専門医：2名

結果：更新2名

研修施設：10施設

結果：6施設更新、4施設は保留。（研修機関の保留申請は2年まで可能。）

関連研修施設：2施設

結果：2施設が保留。（研修機関の保留申請は2年まで可能。）

VI. 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する研修機関等および研修制度の整備

（定款第3条5項）

平成26年度中に研修施設1施設、関連研修施設3施設を新たに認定。

VII. 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業

（定款第3条6項）

VIII. 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究（定款第3条7項）

顎関節症治療ガイドラインの改訂の検討。

IX. 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流（定款第3条8項）

第4回アジア顎関節学会大会の開催に向け、主催側（フィリピン）と連携を取っている。

X. 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業（定款第3条9項）

ハンズオンセミナー企画、学術大会の運営。

XI. 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰（定款第3条10項）

平成26年度学会賞特別賞

該当者なし

平成26年度学会賞学術奨励賞

受賞候補者名：佐藤毅（埼玉医科大学病院歯科・口腔外科）

受賞論文名：日本顎関節学会雑誌掲載論文にみる顎関節症治療成績評価基準に関する調査（日本顎関節学会雑誌25巻1号,P.3～P.10）

XII. その他本法人の目的を達成するために必要な事業（定款第3条11項）